

流山稻門会会員になって

原稿依頼をお受けし、はて？と入会当時を振り返っています。10年ほど前に会社を定年退職し、当時の生活環境の変化に違和感を覚え、何か社会に関わってみたいと思っていたところ、ご近所にお住いの当会の先輩が訪問され、初対面でしたが親切丁寧に活動内容の説明の上、入会を勧められました。温厚なお人柄にも惹かれ、この時自身も“校友”との自覚と忘れかけていた母校愛が覚醒したことを鮮明に思い出します。早速、この流れで2区の親睦会で会員デビュー。心地よい歓迎を受け、そして総会、交流会への参加でさらに多くの早稲田人の中へ自然に溶け込めるようになりました。その後、幹事、副幹事長、幹事長、副会長（現）を仰せつかり、会長はじめ皆さんのご協力を得て活動のお手伝いを続けています。一方、近隣稻門会の総会や県支部への会合参加で、さらに校友の輪が広がりました。この環境は現役時代には想像も及ばず、退職後、井の中の“安閑”のはずが“営業”を求め敢えて大海に飛び込んで良かったと思う今日この頃です。



石井孝 74年 社学卒

海外鉄道を楽しむ！（オランダ・イギリス）



オランダFyraとチューリップ畠



トランの保存鉄道



オランダ北部の保存鉄道



湖水地方の保存鉄道

長女家族がオランダに7年間駐在していた時に、オランダを起点にヨーロッパの鉄道旅を楽しみました。アムステルダム中央駅に行っては、オランダで生まれた孫と一緒に毎年撮り鉄をしていました。

オランダといえばチューリップ！例年は夏に行っていましたが、この年はチューリップとのコラボを撮影したくて4月に行きました。しかし、少し遅かったようでチューリップ畠の7割は刈り取られていました。

オランダには約30の保存鉄道があるといわれています。またS Lだけでなくトラム（路面電車）も今も保存されています。左の写真はオランダ北部の保存鉄道です。乗客の中には時代を感じさせるコスチュームを着て乗車する人々や、駅でもクラシックな装いで発車する列車を見送ってくれたりして、皆さんそれぞれ保存鉄道を楽しんでいました。

イギリスでは約100の保存鉄道がボランティアによって今でも運行されています。

コツツウォルズ地方の保存鉄道では、駅で出発前に運転台に乗せて気さくに説明をしてくれました。湖水地方の保存鉄道ではナローゲージという線路の幅の狭い鉄道ではありますが、実際に営業していたものです。機関車の屋根から機関士の頭が出ているのが愛嬌ですね。

稻垣滋 72年 理工卒



アムステルダム中央駅



孫と撮り鉄



コツツウォルズ地方の保存鉄道



保存鉄道をバックに

私の大学生活 歌との出会い



第一回コンツエルト

私は現在76歳です。65歳で定年退職後働いていませんから日々の暮らしの中で世間と交わることは何だろうと考えると、それは「合唱」ということになるでしょうか。

歌との出会いは一文に入学後選択したロシア語クラスです。クラスメートの中に早稲田グリークラブに所属する伊東一郎君（その後、文学部露文科教授）がいたのは幸運でした。

文学部の小さな教室に数人集まり、伊東君の用意したロシア民謡などでハーモニーの練習を始めました。何曲か歌えるようになると穴八幡の交差点にあった蕎麦屋「三朝庵」で時々開いたクラスコンペなどで何曲か披露したり、1971年冬にロシア語会話の野村タチアナ先生が発起人となって東大駒場の同窓会館で開催された「第一回コンツエルト」でロシア民謡を歌ったのは良い思い出です。

卒業後、1997年に赴任した香港で「香港日本人俱楽部合唱団」に参加して歌い始めました。その合唱団が毎年秋に開催する「秋の音楽会」では自分たちの歌を演奏することに加えて日本から著名な歌手や演奏家を招請してチャリティーコンサートを行い、収益の一部は現地の社会福祉のために寄付するという活動を行っていました。私の鑑賞した歌手では、テノールの錦織健、タケカワユキヒデ（ゴダイゴ）、安田姉妹（由紀さおり、安田祥子）等の方々が挙げられます。

「秋の音楽会」では毎年色んなジャンルの曲を演奏してきましたが、最も強い思い出となっているのは2013年9月に演奏したLes Miserablesです。これは歌うだけでなく踊りを振付けたので相当手強いためでしたが、皆でやり遂げることが出来ました。ご興味があればYouTubeの「香港日本人俱楽部合唱団 The 50th Autumn Music Festival」でご覧頂ければ幸いです。

石塚哲夫 72年 文卒



フランス国旗を振る筆者

流山稻門会会報

発行責任者 会長 高橋孝志
入会希望の方は流山稻門会HPのトップページの「会員募集について」をご参照下さい。

流山稻門会HP

第9回 ながれやま早稲田の集い 開催

2025年10月4日（土）、流山おおたかの森駅前のリゾートダイニング「フランジパニ」を借り切って、「第9回ながれやま早稲田の集い」を開催しました。あいにくの雨の中でしたが、39名の皆さんが参加してくださいました。「早稲田の集い」は、年次総会とは異なり、会員だけでなく市内在住の校友や現役学生が気軽に集い、リラックスした雰囲気の中で楽しむカジュアルな交流の場です。より多くの方が参加しやすいうようにとの思いを込めて、昨年までの「交流パーティー」から、本年名称を変更したもので、開催したお店も初めてです。

定刻の12時、佐藤明夫副幹事長と坂梨圭子幹事の2名によるMC挨拶、高橋孝志会長のオーランゲスピーチ、美味しいビュッフェ料理とフリードリンクで和やかに始まりました。スクリーンでBGMとして流していたのは、「そして紺碧の空へ」という曲です。コロナ禍で、通学できない学生を応援するために作られ、当時は話題になったそうです。ご存じでしたか？

今回の集いへの初参加者は、小林晃一さん・石橋義之さん・川畠尊代さん・三ヶ田康朗さん・館野登志郎さん・千葉佳余さんと近年最多の6名で、自己紹介をしていただきました。会場では、年代の異なるそれぞれの学生時代の話などを興味深く、しかし、お酒も入ったためか、賑やかにお聞きしました。

続いて、地元のマルチな楽器奏者Yoshiyuki氏によるウクレレ演奏で5曲、リゾートな雰囲気を演出しました。

ビンゴゲームの賞品は、すべて流山の名産品で、当選番号の発表の都度、歓声とため息が交錯しました。それにしても、リーチになつても、なかなかビンゴとならないものですね。

お開き前に、紺碧の空を会場全員で合唱しました。年次総会では校歌、早稲田の集いでは紺碧の空と合唱曲を使い分けています。石井浩監査役によるエールで締め、最後に幹事長の須賀勝己によるクロージングスピーチにて14時30分閉会しました。

現役学生さんや稻門会会員でない方には、参加費を特別価格にしています。会員の方を含め、今年参加できなかつた方には、来年のご参加を是非ご検討ください。

早稲田の集いは、参加者の負担を減らそうと、こうした時間帯に開催しています。読者の皆さんから、お店、アトラクション、時間帯などアイデア・ご提案がございましたら、是非お知らせください。お待ちしています。

幹事長 須賀勝己 80年 法卒

流山市民まつりに初出店

10月26日、総合運動公園にて開催された第47回流山市民まつりに流山稻門会として初めて出店しました。

当会も設立から20年を超えて会員の高齢化が進み、新規会員の獲得が課題となっています。そこで、稻門会の認知度を上げて新規会員獲得につながる方策を種々検討した結果、流山市における最も大きなイベントである市民まつりに出店して、その効果を検証しようということになりました。出店内容は次のとおりです。

- 法律・税金の無料相談会/9:00～12:00 当会会員の弁護士・税理士による相談会
- 似顔絵描きイベント/12:00～15:00 早稲田大学漫画研究会現役学生による似顔絵描き
- 鉄道模型の走行イベント/9:00～15:00 鉄道研究会OB（当会会員）による鉄道模型走行イベント（雨模様のため、当初予定の本格的な鉄道模型をやめてプラレールに変更）

9時の開場当初は来場者もまばらでしたが、時間が経つにつれて天気も回復し、それについて来場者も徐々に増えてきて、当テントにもプラレールに目を付けた親子連れが顔を見せられるようになってきました。昼前には鉄道に詳しい流鉄の若手運転手の方（来年の総会で講演予定）が勤務前に立ち寄ってください、プラレールを前にして鉄道談義に花が咲きました。

法律・税務無料相談会でも具体的な相談で立ち寄られたお客様がいました。

午後になつても引き続きプラレール目当ての親子連れがひっきりなしに当テントを訪れて、延べ150名近くの来場者を迎えることができました。また、午後から始まった似顔絵コーナーでは開始直後から順番待ちの予約が殺到し、3時間の間に20組弱、30名ほどのお客様が訪れ、描き手の学生さんは息つく暇もないほど盛況ぶりでした。似顔絵を描いている間も学生さんはお客様に話しかけながら手際よく似顔絵を仕上げ、参加したお客様は皆笑顔でテントを後にしていました。

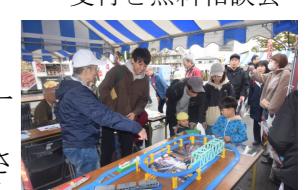
当初は単なる大学のOB会のテントに人が集まるだろうかと危惧しましたが、稻門会のぼり旗を見て、「流山でこんなに積極的に稻門会が活動しているとは知らなかった」と言つて声をかけてくる卒業生の方もあり、結果として新規会員の申し込みが7名ありました。新入会員獲得および流山稻門会の知名度アップのイベントとしては大きな成果を上げることができたと思います。



今回の幹事一同



受付と無料相談会



プラレールと子供達

漫研による似顔絵描き